船田町会だより

NO. 172
平成３１年１月１４日
発行責任者　平塚　忠勇

自転車の正面衝突事故で舟田道拡幅工事促進を要請

町会は１２月１８日、道路計画課に対して、自転車同士の正面衝突事故が発生したことから、舟田道拡幅工事の更なる促進を要請しました。事故が発生したのは１１月２７日７時過ぎ、高橋マサさん宅前で女子高校生(１７歳)と会社員(２８歳)の自転車が正面衝突し救急車で運ばれる事故が発生しました。この場所はゆるやかな曲線ですがスピードを出すと危険な場所でもあります。道路がもっと広ければ事故は防げたかもしれません。また、事故ではありませんが道路の途中で車同士が出会った際、車をバックしてガードレールに接触してしまったという高齢者や女性ドライバーも増えています。舟田道は船田町会のメーン道路にもかかわらずこのような事態が想定されるために多くの住民は迂回を余儀なくされています。

舟田道拡幅工事は構造的に難しい箇所が沢山あり、概略設計を含めて平成３０年度はほとんど前進していないことから、町会はこの自転車事故を契機に工事の促進を要請しました。これに対して市側は「工事の遅延は申し訳ない。概略設計について検査し精査したものが上がってきているので、修正をかけ来年度以降、用地買収ができるよう予算確保に努力していきたい」という考え方を明らかにしました。

町会短針

□お悔やみを申し上げます
６区　藤井　ひさ子様(享年９２歳)　１２月１１日ご逝去

□納涼祭のこども大太鼓の修理完成（町会ホームページ掲載・参照）
傷みがひどく、子ども会から何とかしてほしいと要望のあった納涼祭の大太鼓の修理がこのほどやっと終了しました。業者の大城健業によると、太鼓の胴のひび割れをパテで埋めてその上にニスを何重にも塗り重ねたとのこと。多少凸凹していますが、これでかなりの耐久性もあり新品同様となりました。今年の納涼祭には皆様の前にお披露目します。

□舟田川清掃へ破損フェンス修復と防草シートの敷設を取り付ける（同上）
町会では毎年９月に舟田川（用水路）両岸の草刈りを実施しています。従来は刈った草を下流に流していましたが、水崎町会からの意向もありボランティア袋で回収するやり方に変更しました。ただし、川底から地上に上げるのに３メートル以上となることから、危険な労力のかかる作業になっています。
１２月１３日、八王子市役所の水再生課の職員４名に、船田町会３名、水崎町会1名で現場を歩き様々な要望を提出しました。具体的には①破損フェンスを修復する　②草の生える部分をコンクリートで固める　③防草シートで覆う　④除草剤を使用するなど。その結果、破損フェンスについては市が順次修復する。草が生えるところについては、防草シートで覆うという方法で対処したいという結論になりました。

□年末夜警：防犯部と消防団の皆さんご苦労様でした
恒例の年末夜警は防犯部が１２月２１日から２５日で延べ５８人、消防団が２６日から３０日で延べ４２人が厳しい寒さの中を任務を遂行していただきました。多くの住民から安全・安心と感謝されています。

□平成３０年度社会福祉協議会会員募集結果
１１月から１２月にかけて実施しました。その結果、前年度より若干減少したものの２２４世帯から１２１,０００円のご協力をいただき、１２月１０日に納入しました。ご協力ありがとうございました。

□凍結防止剤(塩化カルシウム)は横山事務所へ
雪に備えて八王子市横山事務所では凍結防止剤を希望者に配布しています。 個人はボトル１本(1.5～2ﾘｯﾄﾙ)から２本とのことですので早めに活用して下さい。

暮らしの中に町会情報を！「船田町会通信」で検索して下さい。